



第27号 TOPIX

- 1 ごあいさつ (愛媛県武道館 館長)
- 2 銃剣道の今～東温高等学校銃剣道部より～(銃剣道)
- 3 武道館開館・連盟設立10周年記念事業の成功を祈念して愛媛から全国へ
愛媛県武道館10周年記念大会によせて (合気道)
- 4 えひめ国体にむけて(なぎなた)
愛媛県武道館夏の行事

■愛媛県武道館

開館時間：午前9:00～午後9:00

休館日：毎週月曜日(月曜日が休日の場合は、直後の休日でない日)

住所：愛媛県松山市市坪西町551番地

TEL：089-965-3111 FAX：089-965-3388

ホームページ：<http://www.ehimekenbudokan.or.jp>

予約システム：https://www.pref.ehime.jp/s_yoyaku/servlet/Top

ごあいさつ



横田 潔館長

公益財団法人
愛媛県スポーツ振興事業団
愛媛県武道館
館長 横田 潔

本年4月に新しく館長に就任いたしましたので、皆様に就任の御挨拶を申し上げます。愛媛県武道館は今年の10月で、開館10周年を迎えます。これまで武道館を御活用いただくとともに、本館の運営に御理解、御協力をいただいた皆様方に厚くお礼を申し上げます。今後とも、変わらぬ御支援と御愛顧を賜りますよう宜しくお願いいたします。

愛媛県武道館は、現在本館顧問の加戸守行氏が知事就任後、松山市道後姫塚にあった旧武道館の建て替えを構想し、当時松山市が整備を進めていた松山中央公園の一角、約2万6千平方メートル余の地に建設されたものです。樹齢100年を超える県産材や今治の大島石、菊間瓦などを用いた本格木造づくりの愛媛県武道館は、日本最大級の武道館であり、木造建築物としても目を見張る大規模な建物です。総工費138億円は、建設費が高額に過ぎるといった批判もありましたが、今改めて思うのは、子どもや孫たちにも残せる本県の武道の殿堂として、県民が胸を張って誇れる施設ができてよかったということです。武道館の建設中に、国では三位一体改革が決定され、武道館完成後の平成16年度に地財ショック(地方交付税等の大幅削減)があったため、その後、本県を含む全国の地方自治体が財政構造改革に取り組むことを余儀なくされました。あの時に決断し、実行していなければ、このような立派な武道館はできなかったと思います。本武道館の主道場には、2階部分に約3,000人収容できる固定の観客席があるほか、1階部分を含めると最大で約6,500席が設置できることから、武道大会はもとより各種スポーツ大会やコンサートなどにも利用されており、県民のスポーツや文化の振興・支援に大きく役立っております。

愛媛県では、4年後の平成29年秋に、昭和28年以来64年ぶりとなる第72回国民体育大会が開催されます。愛媛県武道館は柔道と剣道の競技会場となります。昭和28年の第8回大会は四国4県の開催でしたので、今回は初の単独開催でもあります。国体は2万人以上の選手や監督が参加する国内最大のスポーツ祭典であり、全国のトップアスリートの競技が県内各地で見られることから、子ども達をはじめ県民全般にスポーツがより身近なものになると思われます。また、大会当日には、来県する人々へのお接待も大切になります。国体開催中、あるいはその前後に開催地を上手くアピールすることで、愛媛及び各市町の知名度を高め、経済振興や地域振興に繋がるよう努めることも重要なことです。

現在、本県選手の育成や指導者・審判員等の養成に取り組んでいますが、競技力の強化は焦眉の急です。スポーツマンは優勝や記録更新を目指して日々練習に励みます。国体開催県が毎回総合優勝をしていることには様々な批判も出ていますが、スポーツ大会である以上、優勝を目指すのは当然のことだと思います。しかし、それ以上に重要なことは、えひめ国体に向けて現在取り組んでいる様々な活動を各々の競技団体や地域等にしっかりと定着させること、つまりえひめ国体を契機として、本県をスポーツ立県へと躍進させることです。本県で行われる国内最大のスポーツ祭典を一過性のものにするのではなく、国体終了後においても、その成果が県内に確実に残り、後世に引き継がれ行くことが、何よりも大切ではないかと思えます。そういう意味で、えひめ国体の成功を心から念願しております。

愛媛県武道館がえひめ国体の柔道・剣道の会場として、県内外の多くの人々に親しまれ更なる飛躍に向かうことを期待するとともに、国体開催までの4年余の期間が本県武道、スポーツの充実期となるよう、愛媛県武道館運営スタッフの一員として貢献できれば幸いです。



昨年4月に、愛媛県立東温高等学校に銃剣道部が発足しました。愛媛県銃剣道部と共にえひめ国体に向けて、大きな一歩を踏みだしました。

これまで愛媛県における銃剣道の活動は、自衛隊松山駐屯地体育館を中心に東温市トレーニングセンターも利用し、東温市において活動をしてきました。多くの指導者の先生のもと、小学生から自衛官まで幅広い年齢層が家族的な雰囲気の中で練習を行ってきました。そのように技術指導の面では充実していましたが、ジュニア・少年の人数が少ないのが悩みのタ



東温高校銃剣道部員

ネでした…。

そして今回、郷土愛媛で国体が開催されることとなり、東温市が銃剣道競技の開催地となりました。長年銃剣道を育んできた東温の地で国体が開催されるということで、愛媛県銃剣道連盟の念願であった高等学校における部活動の創設が東温高等学校森岡校長と、高橋教頭（昨年）のもと実現しました。言うまでもなく、国体において少年の部で活躍することを目指しての創設です。

創設メンバーには銃剣道教室出身の生徒だけでなく、水泳部・剣道部などで活躍していた選手の協力も得て8名で始まりました。その後新入部員1名、2年生マネージャー1名を得て昨年は賑やかな活動となりました。現在は3年生3名、2年生3名、1年生5名の計11名内初心者は4名ですが、皆熱心に活動をしています。県下には当然1校しかなく、馴染みのない競技で指導にも不安がありました。連盟の先生方や現役自衛官の方々の熱い支援を受けて日夜練習に励んでいます。

平成25年 6月30日	国民体育大会愛媛県予選会
平成25年 7月27日	第24回全国高校生銃剣道大会
平成25年 8月11日	国民体育大会四国ブロック大会
平成26年 2月16日17日	県外遠征（滋賀県）
平成26年 3月16日	中国・四国選手権大会
平成26年 3月21日～25日	県外遠征（宮城県）

・第24回全国高校生銃剣道大会

男子個人戦 1年生の部 3位 白石尚也 5位 福井皓己
女子個人戦 5位 林田美沙希

・第41回中国・四国地区銃（短）剣道選手権大会

団体戦 少年の部 2位 愛媛B（白石・岡村・福井）
個人戦 少年の部 3位 白石尚也



福井選手

昨年、全国各地で大会や遠征に参加し感じたことは、県下では数少ない銃剣道ですが、全国には多くの競技者や優秀な指導者の方がいて、日夜修練を積んでいるということです。私達も全国の仲間と切磋琢磨し、武道を通して健全な肉体・健全な精神を養い、友情を育んでいけることを喜びと感じて頑張っていきたいと思います。小学校6年生から中学校2年生の方は今から始めて愛媛国体を目指してみませんか？興味のある方はぜひ銃剣道の門をたたいてみてください。



岡村選手 白石選手 福井選手



第24回全国高等学校銃剣道大会

愛媛県銃剣道連盟では毎年実施している地方青少年武道錬成大会（銃剣道）が平成25年7月13日（土）～15日（月）の間愛媛県武道館で実施されます。内容は四国各県から小中学生・高校生が参加し東京の本部から選抜された2名の先生方が来られて指導されます。銃剣道体験の場も用意してありますので、この機会を利用して是非一度見学に来てください。



「武道館開館・連盟設立10周年記念事業の成功を祈念して」 「愛媛から全国へ」「愛媛県武道館10周年記念大会によせて」

武道館開館・連盟設立10周年記念事業の成功を祈念して

武道館開館10周年記念事業及び当連盟の10周年にふさわしい事業として11月3日文化の日に、合気道開祖植芝盛平翁の曾孫にあたる、宗家 植芝充央 若先生をお招きし真髓をご教授いただき、賑々しく大演武大会を開催する次第です。意気込みとして、参加者400名以上、観客者200名を目標としております。



鈴木会長

また、共催事業としての記念品作成や10周年歩みのパンフレット作成も視野に入れ、心に残る記念大会に致します。

11月の開催に向けて、武道協議会の皆様、武道館の皆様、なにとぞ宜しくご指導賜りたくお願い申し上げます。

執筆／愛媛県合気道連盟 会長 鈴木 茂

愛媛から全国へ

5月25日（土）日本武道館において第51回全日本合気道演武大会が開催されました。我が愛媛県合気道連盟からも16名の精鋭たちが出場し、会場を埋め尽くした約1万人の前で、日頃の成果を思う存分発揮してきました。

今年、愛媛県武道館が開館されて10周年を迎えますが、このようなすばらしい環境を与



橋田理事長

えていただき、私たちは「心・技・体」とも十分に修練することができました。

愛媛県合気道連盟も同じく、誕生してから10年の節目を迎えますが、これからもお互いを尊重しあう「和」の武道として、活動を広げていきたいと思っています。

執筆／愛媛県合気道連盟 理事長 橋田 一美



蔵田悠那選手

井手朱音選手

愛媛県武道館10周年記念大会によせて

愛媛県武道館の10周年をお祝い申し上げます。

私達県下の合気道愛好者はこの愛媛県武道館に一堂に集まって恒例の1月に鏡開き演武会・稽古始め、4月に合気道講習会、6月に合気道演武会、8月に少年少女合気道錬成大会を行っています。今年度は愛媛県武道館の10周年を祝して特別に11月3日（日）に連盟発足10周年記念 植芝充央（若先生）講習会を開催します。いつも日本中に誇れる大きくて高い気持ちの良い愛媛県武道館で稽古できますことをうれしく思っています。

昔から「武は神なり」「武は万物の根源なり」という言葉があります。立派な武道館は国の礎です。益々の発展を期して参ります。

執筆／愛媛県合気道連盟 副会長 小清水 祥孝



小清水副会長



H24.8.26(日)

5月3日（金）～5日（日）にかけて、主道場で毎年恒例の強化練習会が行われました。参加県は15県、273名（成年134名、少年139名）の選手が集まりました。中には、昨年国体を終えた岐阜県、今年国体を迎える東京都、3年後に国体を迎える和歌山県、今年インターハイを迎える佐賀県と、選手の練習だけでなく、国体を迎える県としての心構えなどをお話する時間も持てました。我が連盟も今年度より国体強化に向け中学生も参加しました。

1日目は基本練習を中心に、基本打ち、中心線の確認、無駄な動きを無くすことを振り返りました。

2日目は各県5名が1組になった団体試合や個人試合、2名1組での演技練習を中心に練習が行われました。5月末には都道府県大会が行われるため、他県の選手と組むことで日頃打たれること

がない部位を打たれたり、相手との駆け引き、呼吸を学べたのではないのでしょうか。

毎年の国体で審判の主任をされている全日本なぎなた連盟範士の中村ゆり子先生からは「全体を見て、成年と少年が混じる練習の中で、成年は高校生からも学ぶことはたくさんある。」と助言を頂きました。

3日目は地稽古。今回遠方からの参加として、沖縄県、石川県などがありました。日頃お稽古することが出来ない県と交流が出来たのも良かったことの1つです。気迫あふれる姿が見られた充実した3日間でした。

これからも連盟が一丸となり、えひめ国体に向けて日々精進していきたいです。



強化練習風景



強化練習風景



愛媛県武道館からのお知らせ

愛媛県武道館の夏の行事要チェック!!

- | | | |
|----------------------|---|------------------|
| 第2期 スポーツ・レクリエーション教室 | → | 7~9月 |
| 武道入門講座「はじめての空手道・剣道編」 | → | 7/28 (日) |
| 武道体験フェスタ | → | 8/10 (土) |
| 第2回運動神経がUPする体操講座 | → | 8/18 (日) |
| 武道サマーウィーク | → | 8/27 (火) ~31 (土) |

夏休みは家族揃って武道館にレッツゴー!!

○武道館では様々な事業を実施しております!詳しくは、ホームページまたは武道館までお問い合わせください。

愛媛県武道館ホームページ



モバイル用



パソコン用

